

## 2023年度「医療産業イノベーションフォーラム」のご案内

主催：一般社団法人医療産業イノベーション機構  
共催：東京大学未来ビジョン研究センター  
後援：株式会社ファストトラックイニシアティブ

[時期] 2023年12月～2024年3月（12月5日：先行特別回開催済み）

[時間] 18時00分～20時45分（名刺交換会を含む）

[場所] 各回の開催場所をご確認の上、会場までお越しください。

- ◆東京大学本郷キャンパス 伊藤謝恩ホール（伊藤国際学術研究センター B2F） アクセス：<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/iirc/ja/access.html>  
【第1回：2月1日（木）】、【第5回：3月18日（月）】、【第6回：3月27日（水）】
- ◆東京大学本郷キャンパス 鉄門記念講堂（医学部教育研究棟 14F） アクセス：[https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_02\\_09\\_j.html](https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_02_09_j.html)  
【第2回：2月6日（火）】、【第3回：2月14日（水）】、【第4回：2月28日（水）】

[対象] 医療専門職、医療産業に関心を持つ社会人及び学生（東京大学および他大学の学部学生・大学院生）

[参加人数（想定）] 200名

[テーマ] 日本と世界の創薬力の行方を探る

世界の医薬品市場がこの20年で大きく塗り替えられ、高価格帯のバイオ医薬が売り上げの上位を独占する今、低分子医薬品が中心の日本の創薬は影が薄くなっています。バイオ医薬の一角を占める COVID-19 ワクチンの開発競争では日本の出番がなく、とどめを刺された格好になりました。この現状を一気に挽回すべく政府主導で戦略立案に取り組むも、現実には困難を極めており、課題は日本の「全身」に広がっているようです。このフォーラムには、いかなる状況にもへこたれず、各現場で知恵・汗・カネを惜しまず出し合い、徹底的にポテンシャルを引き出すことに懸命な同志が集います。今年度は、社会・産業の大変革時代に突入した今、明日の創薬力の明暗を決すべく最先端領域に焦点を当てて、日本の立ち位置について議論します。

フォーラム代表 木村廣道

[お申込み方法] 医療産業イノベーション機構ウェブサイト（<https://www.miii.or.jp/forum2023/>）よりお申込みください。

[参加費（第1回～第6回）] 一括銀行振込でお願い致します。振込先は申込者へ後日通知いたします。

- ◆機構一般会員：30,000円（参加費には医療産業イノベーション機構年会費12,000円を含みます）  
※聴講にあたっては、一般社団法人医療産業イノベーション機構の単年度会員としてご入会いただきます。
- ◆学生：無料

[注意事項] 会場内飲食、講演の撮影・録音は禁止、時間厳守にご協力願います。なお、取材のお申し込みは、固くお断りいたします。

【フォーラム事務局（申込先・問い合わせ先）】  
一般社団法人医療産業イノベーション機構 事務局  
〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-4 Design Place α 8F  
TEL: 03-5842-3363 メールアドレス：[event@miii.or.jp](mailto:event@miii.or.jp)

回	日程・場所	テーマ	講師（敬称略）	
先行特別回	12月5日（火） 伊藤謝恩ホール	世界の市場と日本のベンチャーイノベーション バイオベンチャー投資の中心にいるのは一体どのような面々か？その未知を探索する。製薬業界の精鋭たちが今ベンチャーな世界に移住する。そこに見たものは何か？	Keith Crandell	Co-founder & Managing Director, ARCH Venture Partners
			Philippe Fauchet, O.B.E.	Founder of Mirasense Partners/Venture Partner, 4BioCapital
			（座長）原田泰	株式会社ファストトラックイニシアティブ パートナー
1	2月1日（木） 伊藤謝恩ホール	日本の創薬競争力の俯瞰 Overview of Japan's Drug Discovery Competitiveness	武田 俊彦	内閣官房 健康・医療戦略室 政策参与 ポストン コンサルティンググループ シニア・アドバイザー
			上野 裕明	日本製薬工業協会 会長、田辺三菱製薬株式会社 代表取締役
			（座長）木村 廣道	東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授
2	2月6日（火） 鉄門記念講堂	中国創薬の実力 China's Drug Discovery Capabilities	堀本 勝久	ソシウム株式会社 代表取締役 CEO、創業者
			Ling Yang	Vice chairman of Chinese Society for the Study of Xenobiotics (CSSX); Director of the Shanghai Society of Drug Metabolism & Pharmacokinetics; Professor, Director of Center for Systems Pharmacokinetics (CSP) at Shanghai University of Traditional Chinese Medicine
			Yinfei Yin	VP, Head of Biology and Pharmacology, Shanghai ChemPartner Co., Ltd.
（座長）Keni Ni	CEO, ASAHI Pharma Co., Ltd.			
3	2月14日（水） 鉄門記念講堂	製薬業界でのAI活用の現在地 Current Status of AI Utilization in the Pharmaceutical Industry	山西 芳裕	名古屋大学 大学院情報学研究所 複雑系科学専攻 生命情報論 教授
			白井 宏樹	理化学研究所 計算科学研究センター コーディネーター
			（講師・座長）藤 秀義	イクトス株式会社 代表取締役社長
4	2月28日（水） 鉄門記念講堂	New Modality CDMO	古石 和親	株式会社セルフアイバ 取締役 最高戦略責任者
			山元 崇	一般社団法人 再生医療イノベーションフォーラム CDMO 部会長 帝人株式会社 再生医療戦略部長
			（座長）鈴木 邦彦	一般社団法人再生医療イノベーションフォーラム 特定細胞加工物等委員会 委員長 株式会社メディネット 顧問
5	3月18日（月） 伊藤謝恩ホール	細胞治療 Cell Therapy	金子 新	京都大学 iPS細胞研究所 教授/副所長 筑波大学 医学医療系 教授
			片山 博仁	ノバルティスファーマ株式会社 血液腫瘍領域事業部 細胞遺伝子エコシステムグループ シニアエコシステムリード
			（講師・座長）下坂 皓洋	アジア細胞治療学会 代表理事 財団法人地域医学研究基金 研究開発部長
6	3月27日（水） 伊藤謝恩ホール	核酸医薬 Nucleic Acid Therapy	秋田 英万	東北大学 大学院薬学研究科 薬物送達学分野 教授
			熊谷 新司	田辺三菱製薬株式会社 創薬本部 モダリティ研究所 核酸化学グループ グループ長
			（座長）秋永 士朗	NANO MRNA 株式会社 代表取締役社長 CEO